

会議名	平成26年度第6回港区指定管理者選定委員会
開催日時	平成26年11月5日(水曜日) 午後4時から午後5時まで
開催場所	区役所4階庁議室
委員	(出席者) 田中副区長(委員長)、杉本企画経営部長(副委員長)、渡邊総務部長(副委員長)、大澤企画課長、村山区役所改革担当課長、森総務課長、野上契約管財課長 (欠席者) 湯川財政課長
出席所管課長	横尾保育担当課長、高嶋芝浦港南地区総合支所管理課長
事務局	古川指定管理者制度担当係長、黒川指定管理者制度担当
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 指定管理者の選定について ①しばうら保育園 3 閉会
配付資料	[席上配付] 資料1 しばうら保育園指定管理者候補者選定調書(公募用) 資料1-2 しばうら保育園指定管理者候補者選考委員会報告書 資料1-3 しばうら保育園指定管理者応募者提案内容の比較表 資料1-4 しばうら保育園職員配置表 資料1-5 しばうら保育園選考委員会採点表 資料1-6 しばうら保育園指定管理者指定申請書 資料1-7 しばうら保育園選考委員会議事録 参考資料 平成26年度第2回港区指定管理者選定委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
横尾保育担当課長 野上委員 横尾課長	議題1 指定管理者の選定について(①しばうら保育園) (所管課長から指定管理者候補者選考委員会報告書等の説明) 1点目は、1社しか応募がなかった理由は何ですか。2点目は、選考委員の意見として、積算根拠がわからない部分があるという指摘について、どのように改善したのですか。 3点目は、人件費は毎年約3億円で、非常勤もいますが70人で1人あたりの金額が年間約400万円ですが、この金額は他施設と比較して妥当と考えてよいのですか。 1点目について、公募時に関連のある事業者へ公募の情報を提供し、説明会では、複数の事業者が参加しましたが、応募したのは1社でした。応募しなかった理由としては、各社の私立保育園の運営で手が回らなかったり、保育士等の人材確保が困難であったりなど、応募しづらい状況があると聞いています。 2点目について、指定管理料の営業費という費目の積算方法がよくわからないということでした。第二次審査のときに説明を受け、算定の根拠、考え方等についての補足の資料を含めた説明をいただき、会議録には「理解できた」と経過を記載しています。 3点目の人件費については、所管としても少し高いのではないかと考えていまして、第二次審査のときに、積算の考え方や細かい資料等も出して説明を受けましたが、他の保育園と比較すると少し割高になっており、事業者側もその点については認識しています

	ので、協議する方向で考えています。
野上委員	2点目の質問に関して、第一次選考の経費に関して、「保育所保育指針との相違点が不明確である」という点は確認していますか。
横尾課長	第二次審査のときに、委員から「あったかい保育」や「楽習保育」という記載は具体的にどういうことを考えているのか確認したところ、低年齢児をトイレに連れていくときなど具体的な事例により実践の考え方が示されました。保育指針と考え方は基本的に変わらないが、それを軸にして独自の的方法論により実践していくということです。
森委員	職員の定着率について、向上するための取組が期待できるということですが、現在の札の辻保育室における定着率は、どうなっていますか。
横尾課長	昨年の職員定着率は、(代表団体である)小学館全体で全職員の離職率は約20%です。札の辻保育室では13.7%で、提案では12%を目標としています。
森委員	職員の定着率の向上にむけて、具体的な提案はあるのですか。
横尾課長	しばうら保育園は札の辻保育室からの引継ぎのため、現在の職員をできるだけ引き継いでいくとのこと。しかし、定員を拡大するので新しい保育士も採用しますが、経験者を採用し、採用時もちんと採用時研修やステップアップ研修という形で人材育成を図っていくこと、福利厚生面で家賃補助をするなど会社でバックアップをして、しっかり仕事をしていけるような体制を組んでいきたいという話がありました。
森委員	職員の家賃補助などの経費は、指定管理料に積算されているのですか。
横尾課長	はい、職員の福利厚生などの経費は人件費に含まれています。
村山委員	障害児の受入れに関する採点項目について、委員の間で評価が分かれています。問題はないことを確認していますか。
横尾課長	一般的な障害児保育であって独自性が見えてこないという指摘はありました。特に問題があるということではありません。
高嶋芝浦港南地区 総合支所管理課長	障害児対応について低い点数をつけている委員からは、会社として保育指針を遵守するという姿勢よりも、企業として「楽習」など、独自の考え方が前面に出すぎているという意見がありました。
渡邊委員	職員の正規、非正規という考え方について、港区が定める「指定管理施設雇用区分確認表」に基づいて書かれているとのことですが、そのように決まっているのですか。
事務局	区では、その指定管理施設雇用区分確認表に基づき、週40時間以上勤務をする職員を正規職員、そのほかの職員について契約社員や派遣社員など業務委託などの職員について正規職員以外と区分しています。
大澤委員	指定管理者制度の運用に関して出てきたさまざまな課題の1つに、この区分があつて、常勤と非常勤、正規と非正規を混同した議論をされることがよくありました。港区としてその物差しを持ってなかったのも、厚生労働省が一定程度目安として出しているこの定義に基づいて、各事業者の実態を確認するという趣旨で、港区指定管理者制度運用改善検討委員会で検討してきた結果です。
委員長	会議録は委員氏名が入っていますが、これでよいのですか。
事務局	選定委員会では、資料は名前入りにさせていただいていますが、公表するときなどではA委員、B委員の形で表記します。
委員長	選定委員会においても氏名が出ていなくても支障はないと思います。ただ、公表資料と

	<p>一緒にしておいた方がよいのではないか、ということです。</p> <p>採点結果について、同じ項目について2点と4点では、大きな開きがありますが、その点について、選考委員会において委員から意見表明はされていないのですか。</p>
横尾課長	全体的に点数をつけていただいていると思います。
委員長	個人的な意見を点数に表すことを委員会として容認したのですか。
高嶋課長	事業者は企業としての思いが強すぎており、保育指針に則り、通常の保育園の運営を行えば十分ではないかという意見がありました。その点について他の委員は、逆に評価している場合もあるようでした。現在の札の辻保育室と同様な運営を継続していった方がよいという意見が他の委員からありました。
委員長	低い点数をつけた委員は、事業者について最終的に了承したのですか。
横尾課長	その委員からは、事業者と協議し、プレゼンテーションでは具体的な回答が得られなかった部分もありましたが、現施設での第三者評価が高い点などを踏まえ、評価をしたうえで、全て納得しているわけではないが、評価できる部分もあるとの見解でした。
委員長	経費算定について、会議録の中で「考え方は理解できた」ということですが、何がどのように「理解できた」のですか。
高嶋課長	経費の一部に、積算根拠がわからないところがあり、営業費用の算定方法、人件費が全体に高い点、あと光熱水費が年々上昇していくという点などについて、第二次審査の際に、資料を用意してもらい、直接確認をしました。
委員長	委員の意見としては、どのような意見なのですか。光熱水費や人件費は清算項目なので、かかった分だけあとは清算となりますが、そのことは理解していただいていますか。
高嶋課長	公募要項の説明の中で、清算項目として職員人件費と光熱水費があるということなどは説明し、理解していただいています。
委員長	選考委員会において「7割以上の得点があるので」（事業者を選考するのが適当）という意見があったようですが、では6割の場合はどうなるのかということもあります。基準を明確に定めるのは困難なので、修正をしてください。
横尾課長	わかりました。修正します。
委員長	非常勤職員の人数が多い理由は何ですか。配置基準を超えるのは別に構いませんが、常勤、非常勤の割合については、どのように説明するのですか。既存の保育園と比較しての差がありますね。
横尾課長	たかはま保育園に比べると、非常勤が多いのですが、しばうら保育園は、定員が200人を超えている中で、少人数で長時間の保育をするので、シフト勤務になっていて、コアタイム以外の時間をカバーするため、きめ細かく配置しています。
委員長	神明保育園との違いは何ですか。
高嶋課長	神明保育園では、配置基準と保育士数を比較するとプラス8人です。たかはま保育園でもプラス8人です。しばうらで保育園は、ほかの園に比べて、割合ではプラスの人数が多いというわけではありません。非常勤職員の人数は、不足するところに少ない日数又は時間でスポット的に非常勤を配置しているため、人数自体が多くなっていると思われると思います。
委員長	保育園では職員体制が非常に重要で、人件費に直接影響します。神明保育園やたかはま保育園の指定のときにも直営の保育園の配置と比較しているため、今回は神明とたかは

	<p>まの比較が必要になってきます。非常勤20人を配置するならば、他の保育園に指定管理者制度を導入するときも必要ではないかという議論が出てきます。説明ができるようにしてください。</p>
横尾課長	<p>はい。もう一度提案内容を確認します。</p>
委員長	<p>人数が多いと職員募集など人事管理コストもかかってくると思います。</p>
横尾課長	<p>事務補助は非常勤を活用していく場合があると思います。事務担当の職員を配置する提案は受けていますが、具体的どのように活用するのかということまでは確認できていません。</p>
委員長	<p>あっぱいの運営との連携について提案を受けていると思いますが、職員配置については、委託と指定管理者なので、経費の点で明確に分ける必要があります。</p>
横尾課長	<p>区別するようにします。</p>
委員長	<p>連携をとることは当然にしても、職員配置については調べておいてください。</p>
杉本委員	<p>早朝勤務と夜間勤務が非常勤職員になるのですね。</p>
横尾課長	<p>延長保育は22時までなので、直営の区立保育園よりも、勤務時間が遅くなるので、シフト形態はより複雑になっていくという点はあると思います。</p>
委員長	<p>神明保育園やたかはま保育園との違いはどのようなのですか。</p>
横尾課長	<p>しばうら保育園と同様に22時まで延長保育を実施しています。</p>
委員長	<p>その違いを説明する必要があります。</p>
横尾課長	<p>はい、内容を確認して説明できるようにします。保育士の人材確保が非常に難しい状況がありますので、非常勤で採用する予定としている可能性があります。内容は確認します。</p>
委員長	<p>保育士確保が厳しい現状はわかりますが、考え方を説明する必要があります。</p>
横尾課長	<p>わかりました。</p>
委員長	<p>他になければ、各委員からの指摘内容を資料に補強することを条件に、しばうら保育園については、Shopro-Taihei 共同事業グループを指定管理者候補者として選定委員会では了承することにします。(結論)</p>
	<p>以上で平成26年度第6回港区指定管理者選定委員会を終了します。</p>